



2026年7月3日
東広島市
西日本旅客鉄道株式会社

自動運転レベル4認可取得に向けた走行試験開始

東広島市と西日本旅客鉄道株式会社（以下「JR西日本」という。）は、自動運転・隊列走行BRT導入に向けた実証実験を2023年度から実施しています。

2027年度末までに走行全区間でレベル4*認可取得を目指し、2026年7月からJR西条駅～広島大学東広島キャンパスを結ぶ県道・市道「ブルーパール」において実証実験を開始しますのでお知らせします。

※レベル4とは、特定条件下においてシステムがすべての運転タスクを実施

1. 目的

- ・2023年度からの実験結果を踏まえた課題に対して必要な対策を講じ、その効果を検証することで定常運転時の自動運転化実現の目指づけを行うこと
- ・東広島市民をはじめとした地域の方々にBRTや自動運転・隊列走行等の新技術に関心を持っていただくこと

2. 実施期間・実施時間（予定）

- ・実施期間
2026年7月7日～2027年2月上旬
- ・実施時間
9:00～17:00（基本）

3. 実施概要

(1) 走行区間

西条駅～広島大学～西条駅（約12km）

全区間にて自動運転走行

○使用するバス停

- ・西条駅
- ・広大中央口
- ・広大西口
- ・大学会館前

(2) 使用車両

大型EVバス（K8 2.0）



走行区間



使用車両

4. 一般運行について

1月下旬～2月上旬をめどに、皆様にご乗車していただく機会を設定予定です。

詳細は、準備が整い次第、別途お知らせします。

5. 主な実施体制と役割

名称	役割
東広島市	全体管理、社会実装に向けた検討
JR 西日本	プロジェクトマネジメント、自動運転・隊列走行技術の開発・実装検討
JR バス中国株式会社	テストドライバー、車両保守・整備
先進モビリティ株式会社	自動運転制御システム
広島県	道路管理者、各種アドバイス
広島大学	各種アドバイス
芸陽バス株式会社	実証実験時の運行協力、各種アドバイス

6. その他

(1) 自動運転バス車両の走行について

- ・車両の前方に急な割り込みがあった場合、急ブレーキが作動します。
- ・西条駅南口ロータリー内の横断歩道、停留所付近では、歩行者確認のための一時停止または減速します。
- ・後方・側方の車両周囲の状況を判断し、レーンチェンジを実施します。
- ・自動運転バス車両には、実証実験期間中の終日、手動区間・回送区間も含めて下の通り車体標記を行います。

自動運転 公道実証実験中

(2) 特別な許可を得た駐車について

3 (1) 記載の「使用するバス停」および「中央公園前バス停（くらら側）付近」に実証実験バス車両のみ駐車可の標識を設置いただき、駐車もしくは一時停車します。

(3) 自動運転バス車両によるデータ取得について

本実証実験では自動運転車両にカメラ等を設置し、自動運転バスの検証に活用しますが、取得データは本実証実験の目的の範囲内のみで利用します。

(4) 補助金について

本事業は、地域公共交通確保維持改善事業（自動運転社会実装推進事業）の補助を受けて実施します。

7. 過去の主なプレスリリース

- ・2025年10月24日 自動運転・隊列走行 BRT の社会実装に向けた「自動運転 EV バス」走行試験開始
[251024_00_press_higashihiroshima_brt.pdf](#)
- ・2024年10月24日 自動運転・隊列走行 BRT 東広島市での実証実験開始と内容詳細について
[241024_00_press_AutodriveandBRTinHigashihiroshima.pdf](#)
- ・2023年11月1日 自動運転・隊列走行 BRT 東広島市での実証実験開始と内容詳細について
[231101_00_press_BRThiroshima.pdf](#)